

報道関係者各位

ニュースリリース

「第27回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」に出展 -持続可能な漁業の実現に貢献する、最新テクノロジーやソリューションを紹介-

古野電気株式会社(本社:兵庫県西宮市、代表取締役社長執行役員:古野幸男、以下 当社)は2025年8月20日(水)~22日(金)の期間中、東京ビッグサイト(東京都港区)で開催される「第27回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」に出展しますのでお知らせします。



当社は持続可能な水産業の実現に向けて、養殖漁業において給餌効果を判断するための養魚管理サービス「Aqua Scope™」をはじめ、空網や潮待を抑止し最適な漁獲をサポートする定置網漁業向けのモニタリングサービス「漁視™ネット」や操業データを活用して漁業効率を高める船舶向けデータ収集システム「漁視™ダイアリー」を出展するなど、様々な水産現場にセンシングや AI などのテクノロジーを組み込んだ漁業の支援サービスを提案します

■養魚管理サービス「Aqua Scope™」

「Aqua Scope™」は養殖管理に必要な各種データをセンサーから自動的に蓄積・統合し、効率的な養殖を実現する統合型ソリューションです。現場の判断をデータで支援し、持続可能でスマートな養殖運営の実現に貢献します。

■定置網モニタリングシステム「漁視™ネット」

「漁視™ネット」は定置網に魚群探知機を設置することで、定置網内の魚群や底網の反応、水温などを遠隔で監視できるモニタリングシステムです。ネットワークを介して定置網の状況を可視化し、陸上にいながらリアルタイムに把握することが可能です。網内の魚群の有無だけでなく網の状態も把握することで潮の流れを推測し、操業が可能か否かを陸上から判断できるなど、操業の効率化・省エネ化をサポートします。

■船舶向けデータ収集システム「漁視™ダイアリー」

「漁視™ダイアリー」は漁船に搭載している航海・漁労計器の情報をクラウドに収集し、離れた場所でも操業状況や海域状況などを記録・モニタリングできるデータ収集システムです。魚探やソナー映像はもちろん、潮流や水温、船の位置情報などの操業データを僚船間で共有することができます。漁具投入や最適な漁場を判断する際に僚船内で同じ情報を確認することで高効率な操業に繋がります。



漁業者を支援するサービスネット

■展示会概要

名称: 第 27 回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー

会期: 2025 年 8 月 20 日(水)~22 日(金) 10:00~17:00 ※最終日のみ 16:00 閉場

会場: 東京ビッグサイト 東館 5・6 ホール

主催: 一般社団法人 大日本水産会

出展コーナー: フィッシュネクスト技術展

公式サイト: <https://seafoodshow-japan.com/tokyo/>

■展示内容

- ・養魚管理サービス「Aqua Scope™」
- ・定置網モニタリングシステム「漁視™ネット」
- ・船舶向けデータ収集システム「漁視™ダイアリー」

【関連リンク】

2025 年 7 月 23 日(古野電気):「今日のデータが未来を変える」養殖 DX の最前線

https://note.com/furuno_umi/n/na9182b91f771

2025 年 5 月 13 日(古野電気): 漁業をもう一度“見える化”する - 持続可能なニッポン漁業 -

https://note.com/furuno_umi/n/n1d85bc76ffc8

2025 年 2 月 7 日(古野電気): 定置網モニタリングシステム「漁視™ネット」を販売開始【DX】

https://www.furuno.co.jp/news/general/general_category.html?itemid=1616&dispmid=1017

以 上